



# 定例記者会見

新年度を迎えて

大規模な広域防災拠点への熊本空港の選定について

# 南海トラフ地震における具体的な 応急対策活動に関する計画について

## 1. 具体計画の位置づけ

南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づく南海トラフ地震発生時の**災害応急対策活動の具体的な内容**を定める国の計画

# 南海トラフ地震における具体的な 応急対策活動に関する計画について

## 2. 大規模な広域防災拠点

救助・救急、消火活動等、医療活動、物資の受入れ・  
集積・分配を総合的かつ広域的に行う拠点（大規模な  
広域防災拠点）として具体的計画に明確化

### 全国で5か所を選定

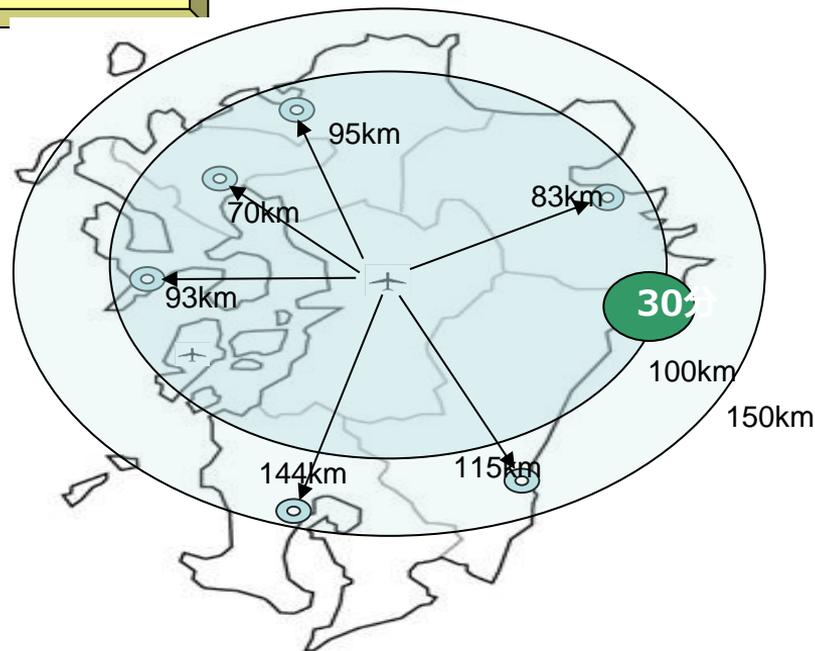
- ① 阿蘇くまもと空港
- ② 静岡空港
- ③ 名古屋飛行場（小牧基地）
- ④ 名古屋港
- ⑤ 大分スポーツ公園

# 「九州を支える広域防災拠点構想」について

## 熊本のポテンシャル・優位性①

### ■九州の中央に位置する

⇒各県までの距離が100  
キロ(へりで30分)前後  
で、活動拠点として最適



# 「九州を支える広域防災拠点構想」について

## 熊本のポテンシャル・優位性②

- 防災拠点としての指令機能を有している
- 災害時の医療拠点としての機能を有している 等



# 九州を支える広域防災拠点構想関連予算

単位：千円

年度	予算	内容
H26	1,293,754	・阿蘇くまもと空港防災エプロン整備 ・運動公園(耐震性貯水槽、防災トイレ) ・消防学校(備蓄倉庫、機能強化) ・グランメッセ(ヘリポート等) ・天草空港防災拠点化整備 等
H27	158,802	・防災ヘリ及び県警ヘリの拠点施設整備(設計・造成) 等
H28	$\alpha$	・防災ヘリ及び県警ヘリの拠点施設整備(建設工事) 等
計	$1,452,556 + \alpha$	